

月	単元・題材名	時	主に学習すること	学習の目標	評価
4	第5章 開国と近代日本のあゆみ(歴史) 1 欧米の進出と日本の開国	3	4 開国と不平等条約 5 江戸幕府の滅亡	欧米諸国のアジア進出と、開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連させて理解させる。	1 2 3 4
	2 明治維新	6	1 新政府の成立 2 維新の三大改革 3 文明国を目指して 4 近代的な国際関係 5 民権運動の高まり 6 立憲国家の成立	明治新政府の改革の特色とこれによって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。	
	3 日清・日露戦争と近代産業	6	1 欧米列強の侵略と条約改正 2 日清戦争 3 日露戦争 4 韓国と中国 5 産業革命の進展 6 近代文化の形成	日本で近代産業が発展したことを、大陸との関係や国内外の反応、韓国の植民地化などから理解させる。	
5	第6章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦とアジア・日本	6	1 第1次世界大戦とロシア革命 2 国際協調の高まり 3 アジアの民族運動 4 大正デモクラシー 5 広がる社会運動 6 都市化と大衆文化	第一次世界大戦の概要を理解させる。日本の大正時代の様子について、大正デモクラシーや多くの民衆運動を通して調べたり考えたりする態度を育てる。	
6	2 世界恐慌と中国侵略	6	1 世界恐慌とブロック経済 2 欧米の情勢と日本 3 日本の中国侵略 4 日中全面戦争	世界恐慌の原因と日本の軍国主義化の経緯を地図を用いて具体的に理解させる。	
	3 第二次世界大戦とアジア	6	1 第2次世界大戦 2 アジア・太平洋での戦い 3 戦争の終結	第二次世界大戦の概要を理解させ各国の動きを比較しながら考えさせる。	
	第7章 現代の日本と世界 1 日本の民主化と国際社会への復帰	4	1 占領と日本の民主化 2 二つの世界とアジア 3 国際社会に復帰する日本	戦後の日本の歩みについて、民主化政策や憲法制定を中心に理解させ、世界の中の日本の立場を考えさせる。	
7	2 国際社会と日本	3	1 高度経済成長のなかの日本 2 現代の日本と世界 3 これからの日本と世界	冷戦終結から現在までの日本の歩みを理解させ将来の日本と世界について考える。	
9	第1章 わたしたちの生活と現代社会(公民) 1 節 現代社会とわたしたちの生活	4	1 グローバル化 2 情報化 3 少子高齢化	現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などが見られることを写真や統計資料などから読み取らせる。	
	2 節 わたしたちの生活と文化	3	1 現代社会における文化の意義 2 暮らしに生きる伝統文化 3 日本文化の多様性 4 文化の継承と創造	伝統的な文化を継承し、新しい文化を創造する態度を育てる。	
	3 節 現代社会の味方や考え方	3	1 社会集団の中で生きるわたしたち 2 効率と公正 3 きまりをつくる目的と方法	対立と合意、効率と公正など現代社会の見方や考え方を理解させる。	
10	第2章 人間の尊重と日本国憲法 1 節 人権と日本国憲法	7	1 ちがいのちがいの歴史 2 人権の歴史 3 日本国憲法の基本原理 4 日本の平和主義	大日本帝国憲法を比較させながら、日本国憲法の基本原理について理解させる。	
	2 節 人権と共生社会	8	1 基本的人権と個人の尊重 2 平等社会と共生社会 3 自由権 4 社会権 5 人権保障を確かなものに	現在も日本に残る差別とその解消に向けた対策について理解させる。	
	3 節 これからの人権保障	5	1 社会の変化と「新しい人権」 2 グローバル社会と人権 3 人権の考え方を使って社会を見てみよう	社会の変化に伴って生じた人権上の新しい課題にはどのようなものがあり、それらがなぜ重要なのかを理解させる。	
11	第3章 現代の民主政治と社会 1 節 現代の民主政治	8	1 市長になって考えてみよう 2 民主主義と政治 3 政党と政治 4 選挙のしくみと課題 5 政治参加と世論	政党の役割や選挙制度、世論などの政治参加の仕組みについて考察させ、政治参加の在り方について考えさせる。	
	2 節 国の政治のしくみ	9	1 国会の地位としくみ 2 国会の働き 3 行政のしくみと内閣 4 行政改革 5 裁判所のしくみと働き 6 裁判の種類と人権 7 裁判員制度 8 三権の抑制と均衡	国会・内閣・裁判所の地位や役割、相互関係を理解させる。三権分立の原則によって国民の自由や権利、政治参加の機会が保障されていることに気付かせる。	
	3 節 地方の政治と自治	8	1 わたしたちと地方自治 2 地方自治の制度 3 地方財政 4 住民参加の拡大 5 わたしたちの政治参加	地方自治が直接民主制の手法を導入している理由について具体的な事例や制度に基づいて、多面的・多角的に考察させる。	
12	第4章 わたしたちの暮らしと経済 1 節 暮らしと経済	4	1 コンビニエンスストアの経営者になってみよう 2 わたしたちの消費生活 3 消費者の権利 4 消費生活を支える流通	経済に関する情報の収集、選択、活用などを通じて、経済に親しみ、主体的に課題を設定し、解決していく態度を養う。	
	2 節 生産と労働	7	1 企業の役割と意義 2 現代日本の企業 3 働くことの意義と労働者の権利 4 働きやすい職場を築くために	企業の役割と生産活動の仕組みと働きについて理解させる。労働者の権利と重要性について理解させる。	
	3 節 価格の動きと金融	7	1 市場経済のしくみ 2 価格のはたらき 3 わたしたちの生活と金融機関 4 貨幣と金融	市場経済の基本的な考え方や価格の決め方や資源の配分について理解させる。	
	4 節 国民生活と福祉	7	1 政府の経済活動と租税 2 政府の役割 3 社会保障のしくみ 4 少子高齢化と財政 5 公害の防止と環境の保全 6 世界の中の日本経済 7 経済プレゼンテーション	少子高齢化社会と社会保障の充実、日本経済の発展と課題など、経済上の諸課題に関心をもち、多面的・多角的に考察させる。	
2	第5章 地域社会とわたしたち 1 節 国際社会と世界平和	9	1 地球のさまざまな姿 2 国際社会における国家 3 国際連合のしくみとはたらき 4 地域主義の動き 5 新しい戦争 6 世界の平和のために	世界平和の実現と人類の福祉の拡大のために各国が相互に主権を尊重し協力し合うことが重要であることを認識させる。	
	2 節 国際問題とわたしたち	6	1 文化の多様性 2 地球環境問題 3 資源・エネルギー問題 4 貧困問題の現状 5 世界の中の日本 6 よりよい地球社会のために	世界の文化の多様性を理解させ、世界中の人々が国境を越えて協力していくためにはどうしたらよいかを考えさせる。	
3	終章 よりよい社会をめざして	5	1 持続可能な社会を形成するために 2 探究の方法 3 レポートの作成 4 探究を社会参画につなげる	持続可能な社会を形成するために必要な課題を見いだして探究し、レポートにまとめさせる。	
合計		140	評価の観点 1, 社会的事象への関心・意欲・態度 2, 社会的な思考・判断・表現 3, 資料活用の技能 4, 社会的事象についての知識・理解		

